

## 授業方法および授業内容の改善における一考察

### — 新型コロナウイルス感染症拡大の中で実施した

### 「保育内容（音楽表現I）」の取り組み —

A study on the improvement of teaching methods and contents :  
An Approach to “Childcare Content (Music Expression I)” during the COVID-19 Pandemic

木許 隆 KIMOTO Takashi

#### はじめに

保育士養成校Aでは、2020年度の初めより、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、対面授業はおろか学校の教学的な機能を止めるような対策が取られた。そして、2020年4月の入学生は、学生生活を始めることができず、遠隔授業もしくは学習システム「MANALOG」を用いた課題提出型授業を受講するための準備に追われた。在学生も同様、経験の少ない中で遠隔授業もしくは課題提出型授業を受講することとなった。

また、保育士養成校Aでは、これまでより米国Google LLC社のメール配信システム（通称：G-Mail）を導入しており、教職員は、教職員番号を、学生は、学籍番号を用いたメールアドレスが存在していた。そして、状況に鑑みGoogle LLC社の動画配信システム等を活用した遠隔授業への移行を、早い段階で行った。

本研究に関する先行研究を調査すると、新型コロナウイルス感染症の中、筆者と同じ保育内容の五つの領域を担当する中西（2021）は、授業で用いる情報機器、教材の活用に対する課題を明確にし、今後の方向性を見出していた。また、小山（2021）は、子どもの①知識及び技能の基礎、②思考力、判断力、表現力等の基礎、③学びに向かう力、人間性等の三本柱より「思考力」に着目し、保育現場における子どもの思考力を育む指導の在り方を示唆していた。

本研究は、まず、2020年度前期に開講した「保育内容（音楽表現I）」における授業方法および授業内容の課題を明確にする。そして、その課題を改善した授業を後期に展開し、学生の学習内容の変化を確認する。また、学生の授業に対する反応をふまえた考察を行う。

#### I 研究目的

本研究は、保育士養成校Aにおいて2020年度前期に開講した「保育内容（音楽表現I）」における課題を明確にし、その課題を改善した授業を後期に展開することを第一の目的としている。そして、学生の学習内容の変化を確認し、学生の授業に対する反応をふまえた考察を行うものである。

## Ⅱ 研究方法

本研究は、以下の手順および方法で行う。

① 2020 年度前期に開講した「保育内容（音楽表現Ⅰ）」における授業の方法および内容の課題を明確にする。

② 2020 年度後期に開講した「保育内容（音楽表現Ⅰ）」において、前期の課題を改善した授業を展開する。

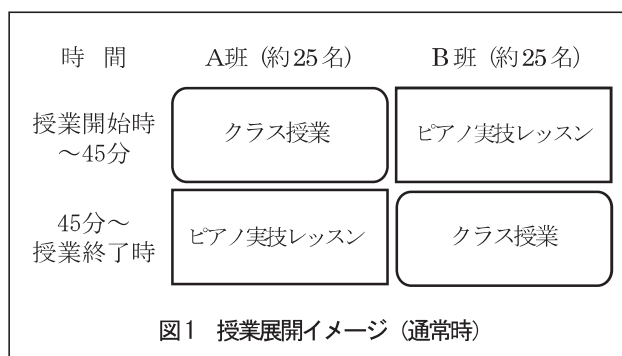
③ 2020 年度後期に開講した「保育内容（音楽表現Ⅰ）」をふりかえり、学生の学習内容を確認し、学生の授業に対する反応をふまえた考察を行う。

尚、本研究において対象とする授業は、前期、後期ともに同じ科目名称であるが、受講した学生は、違うことを付記する。

## Ⅲ 研究内容と結果

### 1. 授業の概要

「保育内容（音楽表現Ⅰ）」は、1 クラス約 50 名を 2 分割し、45 分入替制によってクラス授業とピアノ実技レッスンを展開している（図1）。そして、通常のクラス授業は、1 名の教員が担当し、シラバスに基づいて展開している。



第1週の授業内容は、「授業計画及び授業内容の説明。『幼稚園教育要領』の変遷から領域「表現」を探る。」とし、本授業の授業計画、単位認定の基準、授業内容を理解する。そして、「保育要領（1948年告示）から、「幼稚園基準（1952年制定）」、「幼稚園設置基準（1956年制定）」を踏まえ、「幼稚園教育要領（1956年告示）」の考え方を説明する。また、「幼稚園教育要領（第1次改訂：1964年告示）」、「同（第2次改訂：1989年告示）」、「同（第3次改訂：1999年告示）」、「同（第4次改訂：2009年告示）」の改訂点を年代順に追い、現行の「同（第5次改訂：2017年告示）」の考え方を理解する。

第2週の授業内容は、「領域「表現」と音楽的な表現活動を知り、あそびのおもしろさを習得する。」とし、現行の「幼稚園教育要領」の領域「表現」より、「ねらい」、「内容」、「内容の取扱い」の考え方を理解する。そして、子どもの表現力を知り、音楽的な表現を導く手法について理解する。また、歩く、走る、跳ぶなどを含む「動きの表現」、速い、遅いなどを含む「速度の表現」、強い、弱いなどを含む「強弱の表現」、その他、対照となる言葉を用いて表現することを体験する。

第3週の授業内容は、「幼児教育における音楽の役割を考え、指導計画を立てる。」とし、模倣あそびの中でも「ことばのまねっこあそび」、「ごっこあそび」に焦点をあて、「想像

力を膨らませる表現」、「うたう表現」を探る。そして、幼児教育における音楽の役割を考え、子どもに展開する方法を考える。

第4週の授業内容は、「弾き歌い伴奏法の実践①（日々の活動の歌）を通して表現力を身につける。」とし、クラス授業と並行して行っているピアノ実技レッスンの中で習得した、子どもの歌を発表する。そして、他の学生が発表したものを鑑賞する。

第5週の授業内容は、「子どもの音楽的な表現活動（うたう・きく・ひく・うごく・つくる）を知る。」とし、子どもの「表出」、「表現」（「表出表現」を含む）の捉え方を理解する。そして、子どもの五つの活動における発達段階を理解し、それらを体験する。

第6週の授業内容は、「日本の幼児音楽教育の歴史と変遷を知る。」とし、明治維新以降の音楽教育や学校教育及び幼児教育の歴史を理解する。そして、わらべうたあそびや伝承あそび、文部省唱歌の歌唱を体験し、時代、地域差、日本語が持っている音楽的な特性などを探る。

第7週の授業内容は、「表現活動の過程と評価の考え方を探る。」とし、発達段階を踏まえた「ふれあうあそび」、「手や指のあそび」、「ことばのあそび」、「うごくあそび」、「つくるあそび」、「季節のあそび」、「集団のあそび」を探る。そして、子どもを認めることについて考える。

第8週の授業内容は、「子どもの発達段階を考え、指導計画を立てる。」とし、身体部位の発達段階を踏まえ、子どもが「できること」、「頑張ればできること」、「できないこと」など、子どもの可能性を探る。そして、年齢に応じた指導計画を作成し、発表する。

第9週の授業内容は、「弾き歌い伴奏法の実践②（春・夏の歌）を通して表現力を身につける。」とし、クラス授業と並行して行っているピアノ実技レッスンの中で習得した、子どもの歌を発表する。そして、他の学生が発表したものを鑑賞する。

第10週の授業内容は、「世界の音楽教育を知る。」とし、E.J.ダルクローズ、Z.コダーイ、C.オルフ、R.シュタイナーの音楽教育方法の特徴を理解する。そして、身体的な表現へのつながりを考えながら、子どものリズムあそびを体験する。

第11週の授業内容は、「子どもの想像力を膨らませる教材（絵本・紙芝居・パネルシアターなど）を知る。」とし、音楽と視覚的効果について理解する。そして、様々な教材を用いて子どもに対して演じる方法を探る。

第12週の授業内容は、「教材を用いた指導計画を立てる。」とし、第11週で用いた教材の指導計画を立てる。そして、指導計画を発表し、発達段階を踏まえた指導計画であるか評価を受ける。また、他の学生が作成した指導計画について評価する。

第13週の授業内容は、「弾き歌い伴奏法の実践③（秋・冬の歌）を通して表現力を身につける。」とし、クラス授業と並行して行っているピアノ実技レッスンの中で習得した、子どもの歌を発表する。そして、他の学生が発表したものを鑑賞する。

第14週の授業内容は、「子どもの楽器、その演奏法を知りアンサンブルを経験する。」と

し、子どもが用いる楽器の音の鳴る仕組み及び演奏方法について理解する。そして、その楽器を用いたアンサンブルを体験する。

第15週の授業内容は、「まとめ」とし、クラス授業と並行して行っているピアノ実技レッスンの成果を発表する（表1）。

表1 「保育内容（音楽表現Ⅰ）」シラバス（抜粋）

| 週    | 授業内容                                                                                                     |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1    | 授業計画及び授業内容の説明。「幼稚園教育要領」の変遷から領域「表現」を探る。                                                                   |
| 2    | 領域「表現」と音楽的な表現活動を知り、あそびのおもしろさを習得する。                                                                       |
| 3    | 幼児教育における音楽の役割を考え、指導計画を立てる。                                                                               |
| 4    | 弾き歌い伴奏法の実践①（日々の活動の歌）を通して表現力を身につける。                                                                       |
| 5    | 子どもの音楽的な表現活動（うたう・きく・ひく・うごく・つくる）を知る。                                                                      |
| 6    | 日本の幼児音楽教育の歴史と変遷を知る。                                                                                      |
| 7    | 表現活動の過程と評価の考え方を探る。                                                                                       |
| 8    | 子どもの発達段階を考え、指導計画を立てる。                                                                                    |
| 9    | 弾き歌い伴奏法の実践②（春・夏の歌）を通して表現力を身につける。                                                                         |
| 10   | 世界の音楽教育を知る。                                                                                              |
| 11   | 子どもの想像力を膨らませる教材（絵本・紙芝居・パネルシアターなど）を知る。                                                                    |
| 12   | 教材を用いた指導計画を立てる。                                                                                          |
| 13   | 弾き歌い伴奏法の実践③（秋・冬の歌）を通して表現力を身につける。                                                                         |
| 14   | 子どもの楽器、その演奏法を知りアンサンブルを経験する。                                                                              |
| 15   | まとめ                                                                                                      |
| 教科書  | 木許 隆監修『保育者をめざす楽しい音楽表現』圭文社<br>木許 隆監修『うたのファンタジー』圭文社<br>木許 隆監修『保育者、教員をめざす人のための初級ピアノ・テクニック速習ステップス』音楽之友社      |
| 参考書籍 | 文部科学省『幼稚園教育要領（平成29年告示）』フレーベル館<br>厚生労働省『保育所保育指針（平成29年告示）』フレーベル館<br>内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年告示）』フレーベル館 |

また、クラス授業と並行して行っているピアノ実技レッスンは、1名の教員が6-7名の学生を担当し、学生の演奏レベルに合わせたマンツーマン形式のレッスンを展開している。さらに、単位認定は、以下の課題を提示し、クラス授業を50%、ピアノ実技試験を50%とした割合で算出し認定していることを付記する（表2）。

表2 単位認定に係る課題一覧

| クラス授業                                                                                                                   | ピアノ実技レッスン                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内課題</li> <li>・幼児歌曲チェック（5曲以上の合格を条件とする）</li> <li>・定期試験</li> <li>・平常点</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイエル終了程度の演奏技術の習得（5曲の試験課題より当日1曲を指定して演奏する）</li> <li>・平常点</li> </ul> |

## 2-1. 2020年度前期授業の結果と考察

2020年度前期に開講した「保育内容（音楽表現Ⅰ）」は、学生の出講人数を減らすため、クラスを2分割し、隔週で課題提出型によるクラス授業と対面型によるピアノ実技レッス

ンを展開した。そして、授業時数を確保するため、クラス授業の課題は2週分を提示し、ピアノ実技レッスンは出講1回につき2週分のカウントとした（図2）。

また、課題提出型のクラス授業で用いた課題は、学習システム「MANALOG」において以下のように提示した（表3）。

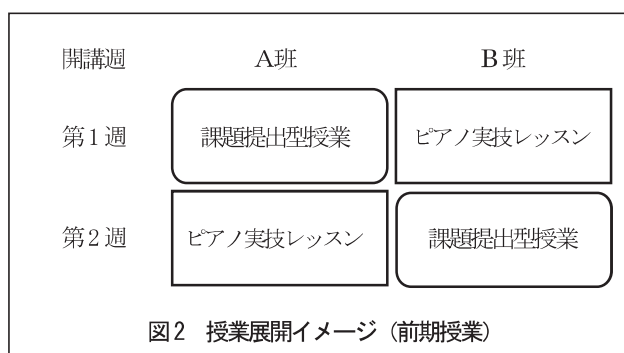


図2 授業展開イメージ（前期授業）

表3 クラス授業の課題一覧（前期）

| 週     | 課題                                             |
|-------|------------------------------------------------|
| 1,2   | 添付された資料（pp.8-11）をよく読み、各項目について要旨をまとめなさい。        |
| 3,4   | 添付された資料（pp.15-18）をよく読み、各項目について要旨をまとめなさい。       |
| 5,6   | 添付された資料（pp.21-24）をよく読み、各項目について要旨をまとめなさい。       |
| 7,8   | 添付された資料（pp.25-27）をよく読み、各項目について要旨をまとめなさい。       |
| 9,10  | 添付された資料（pp.27 ③ひく活動-29）をよく読み、各項目について要旨をまとめなさい。 |
| 11,12 | 添付された資料（pp.30-31）をよく読み、各項目について要旨をまとめなさい。       |
| 13    | 弾き歌い伴奏法の実践①（日々の活動の歌）を通して表現力を身につける。             |
| 14    | 弾き歌い伴奏法の実践②（春・夏の歌）を通して表現力を身につける。               |
| 15    | まとめ                                            |

課題は、全て学習システム「MANALOG」によってA4用紙1枚程度（1600字程度）にまとめ提出するよう指示した。

課題の中にある「添付された資料」は、表1「教科書」の欄にある『保育者のための楽しい音楽表現（圭文社）』を用いた。また、授業開始時に学内で行われる教科書販売ができなかったため、学生が教科書を手にしていない可能性があり、その解決策として教科書をPDFにして添付資料とした。そして、課題を提出するにあたり、友だちや人に説明する観点で要旨をまとめるよう指示した。さらに、表1の第13週「弾き歌い伴奏法の実践③（秋・冬の歌）を通して表現力を身につける。」は、定期試験期間として扱われている第16週に実施した。

以上より、本科目で取り上げることができなかった授業内容の3項目が明確になった。それは、「① 各週の授業内で取り上げる手あそび・指あそびや季節の歌あそびの実践」、「② 世界の音楽教育を知る（第10週）」、「③ 子どもの楽器、その演奏法を知りアンサンブルを経験する（第14週）」であった。この3項目は、後期に開講される「保育内容（音楽表現Ⅱ）」において補充する必要がある。しかし、この授業は選択となるため、全学生にその内容を補充することはできない。また、①は、学生へ積極的な自習を促す必要があると考える。



## 2-2. 2020 年度後期授業の結果と考察

2020 年度後期、第三部 2 年生に開講した「保育内容（音楽表現Ⅰ）」は、以下の予定で実施した。前期に第一部 2 年生で展開した授業の改善点をふまえ、クラスを 2 分割し、隔週で遠隔授業によるクラス授業と対面授業によるピアノ実技レッスンを展開した。また、授業時数を確保するために、クラス授業の課題は 2 週分を提示し、ピアノ実技レッスンは出校 1 回につき 2 週分のカウントとした。さらに、前期に実施できなかった保育実習や教育実習が実施されたため、平常授業に加え土曜日の補講日を設定することとなった。

クラス授業の課題は、以下のとおりである（表 4）。

表 4 クラス授業の課題一覧（後期）

| 週     | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1,2   | <p>【課題】</p> <p>(1) 教科書 p.8「子どもと表現」を読み、その内容を 350 - 400 文字で要約しなさい。</p> <p>(2) 教科書 pp.9 - 11「三法令の流れ」を読み、その内容を 350 - 400 文字で要約しなさい。</p> <p>(3) 教科書 p.91「あおむしでたよ」、pp.92 - 93「あくしゅでこんにちは」、p.94「あたま・かた・ひざ・ボン」を練習し、2 曲を発表しなさい。</p> <p>【注意点】</p> <p>(1)、(2) の課題は、自分の意見を述べるものではありません。教科書の内容を説明するつもりで書きなさい。(3) の課題は、第 3・4 週のピアノ実技レッスンで出講した際、ピアノの練習時間を使って発表します。尚、曲の始まりの音はピアノで与えますが、無伴奏（アカペラ）で歌いながら手あそびを行います。</p> |
| 3,4   | <p>【課題】</p> <p>(1) 教科書 pp.15 - 16「幼児教育において育みたい資質・能力」を読み、その内容を 350 - 400 文字で要約しなさい。</p> <p>(2) 教科書 pp.17 - 18「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を読み、その内容を 350 - 400 文字で要約しなさい。</p> <p>(3) 教科書 p.95「あなたのおなまえは」、p.96「1 丁目のドラネコ」、p.97「1 ぴきの野ねずみ」を練習し、2 曲を発表しなさい。</p>                                                                                                                                                     |
| 5,6   | <p>【課題】</p> <p>(1) 教科書 p.21「保育者と幼稚園教育要領」を読み、その内容を 200 - 250 文字で要約しなさい。</p> <p>(2) 教科書 p.21「幼稚園教育要領の～（後略）」を読み、その内容を 200 - 250 文字で要約しなさい。</p> <p>(3) 教科書 pp.22 - 23「領域表現のねらい・内容」を読み、その内容を 200 - 250 文字で要約しなさい。</p> <p>(4) 教科書 pp.23 - 24「内容の取扱いの～（後略）」を読み、その内容を 200 - 250 文字で要約しなさい。</p> <p>(5) 教科書 p.100「いっぽんばしにほんばし」、p.101「いとまき」、pp.108 - 109「おべんとうばこのうた」を練習し、2 曲を発表しなさい。</p>                        |
| 7,8   | <p>【課題】</p> <p>(1) 教科書 p.25「子どもの音楽的表現活動」を読み、その内容を 350 - 400 文字で要約しなさい。</p> <p>(2) 教科書 p.26「うたう活動」を読み、その内容を 350 - 400 文字で要約しなさい。</p> <p>(3) 教科書 p.110「おもねをはりましょ」、p.114「グーチョキパーでなにつくろう」、p.115「こぶたぬきつねこ」を練習し、2 曲を発表しなさい。</p>                                                                                                                                                                            |
| 9,10  | <p>【課題】</p> <p>(1) 教科書 p.27「きく活動」を読み、その内容を 350 - 400 文字で要約しなさい。</p> <p>(2) 教科書 pp.27 - 28「ひく活動」を読み、その内容を 350 - 400 文字で要約しなさい。</p> <p>(3) 教科書 p.118「ごんべさんのあかちゃん」、p.120「ちいさな庭」、p.124「はじまるよはじまるよ」を練習し、2 曲を発表しなさい。</p>                                                                                                                                                                                   |
| 11,12 | <p>【課題】</p> <p>(1) 教科書 pp.28 - 29「うごく活動」を読み、その内容を 350 - 400 文字で要約しなさい。</p> <p>(2) 教科書 p.29「つくる活動」を読み、その内容を 350 - 400 文字で要約しなさい。</p> <p>(3) 教科書 p.126「とんとんとんひげいじさん」、p.128「パンダうさぎコアラ」、p.131「やきいもグーチャーパー」を練習し、2 曲を発表しなさい。</p>                                                                                                                                                                           |

| 週     | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13,14 | <b>【課題】</b><br>(1) 教科書 p.36「動きの表現方法」を読み、その内容を 200 - 250 文字で要約しなさい。<br>(2) 教科書 pp.36 - 37「動きの表現」を読み、その内容を 200 - 250 文字で要約しなさい。<br>(3) 教科書 pp.37 - 38「速度の表現」を読み、その内容を 200 - 250 文字で要約しなさい。<br>(4) 教科書 p.38「表現法」を読み、その内容を 100 - 150 文字で要約しなさい。<br>(5) 教科書 p.38「単数から複数・グループへ」を読み、その内容を 100 - 150 文字で要約しなさい。 |
| 15    | まとめ                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

課題は、全て学習システム「MANALOG」によって提出するように指示した。また、前期授業の改善点をふまえ、第4週「弾き歌い伴奏法の実践①（日々の活動の歌）を通して表現力を身につける。」、第9週「弾き歌い伴奏法の実践②（春・夏の歌）を通して表現力を身につける。」、第13週「弾き歌い伴奏法の実践③（秋・冬の歌）を通して表現力を身につける。」は、ピアノ実技レッスンにおいて出校する際に、随時、受け付けるよう試みた。

以上より、本科目で取り上げることができなかった授業内容の3項目が明確になった。それは、「① 世界の音楽教育を知る（第10週）」、「② 教材を用いた指導計画を立てる（第12週）」、「③ 子どもの楽器、その演奏法を知りアンサンブルを経験する（第14週）」であった。この3項目は、後期に開講される「保育内容（音楽表現Ⅱ）」において補充する必要がある。しかし、この授業は選択となるため、全学生にその内容を補充することはできない。また、学生がピアノ実技レッスンを受講しながら、空き時間を活用して手あそび・指あそびや弾き歌い伴奏法の発表を行うことになったため、90分の時間内に収まらず、休憩時間にも発表を行うこともしばしばであった。

## まとめと課題

前期授業開始時には、いつから対面授業ができるのかという不安ばかりが募っていた。そして、遠隔授業でクラス授業の部分のみ先行する決断をした。また、ピアノ実技レッスンを担当する教員には、マスク、フェイスシールドの着用をお願いし、レッスン前後の手指消毒や使用ピアノの消毒、開講日の変更など大きな負担をかけることになった。しかし、本来の単位認定に係る課題（表2）をクリアし第15週に「まとめ」となるピアノ実技試験を実施することができた。そして、どうしても課題をクリアできなかった学生に対して、実習などの合間に補習レッスンを行い単位認定に至った。

後期授業では、前期に受講した学生と後期に受講した学生の知識、技術の面で差が出ないよう留意した。しかし、結果として、手あそび・指あそびの実践や弾き歌い伴奏法の発表などの面で、後期に受講した学生が優位になったことは言うまでもない。

学生は、発表の前に友だちと音を取り合ったり、教えあったりしながら学び合っていた。そして、一人で発表しなければならないことから、学生の自信に繋がったのではないかと感じている。

教員にとっても学生にとっても初めての経験ばかりの中で、この先、「コロナ学年」や「コロナ世代」と言われるようなことがあってはならない。教員が新しい教育方法や授業の運営方法を工夫し、これまでと同じような習熟度や達成度をはかることができる学生を輩出しなければならないと感じている。

#### 文献

- ・木許 隆他『幼稚園教諭・保育士をめざす楽しい音楽表現』圭文社, 2009, 東京.
- ・木許 隆『うたのファンタジー』圭文社, 2013, 東京.
- ・木許 隆他『保育者、教員をめざす人のための初級ピアノ・テクニック速習ステップス』音楽之友社, 2014, 東京.
- ・木許 隆他『保育者をめざす楽しい音楽表現』圭文社, 2017, 東京.
- ・中西一弘「保育者養成課程における「領域『健康』の指導法」の授業内容の検討：情報機器及び教材の活用に着目して」淑徳大学短期大学部紀要（63）, pp.41-47, 2021, 東京.
- ・小山容子「領域「環境」における思考力の芽生えを培う指導の在り方に関する研究」創価大学教育学部・教職大学院教育学論集（73）, pp.127-141, 2021, 東京.